

基本施策における平成 29 年度主な取組み及び評価と平成 30 年度の取組み

基本目標 1 生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底

事業名	目的	対象	内容	平成 29 年度取組み及び実績	評価	平成 30 年度取組み																																
がん検診	がんの早期発見・早期治療に結びつけることにより、がんによる早世を減らす。	胃・肺・大腸：40 歳以上男女 胃(内視鏡)：50～68 歳偶数年齢 乳：40 歳以上女性 子宮頸：20 歳以上女性 前立腺：50～74 歳男性	胃：X 線検査・内視鏡 肺：X 線検査・喀痰検査 大腸：便潜血検査 乳：マンモグラフィ 子宮頸：子宮頸部の細胞診 前立腺：血液検査	<p>1. 検診体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 胃内視鏡検査の導入 市内 8 か所 ・無料クーポン券の発行 (H21 年度～) 【クーポン利用率】※分母は、全人口 子宮：17.9%、乳：25.9%、大腸：10.6% ② 無料対象者への未受診者勧奨ハガキ発送 子宮：1,523 件、乳：1,847 件、大腸：3,947 件 ・総合健診日 1 回、レディース健診日 4 回 ③ 加賀市医療センターにおける乳がん検診の実施 441 件 <p>2. 健康管理の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精密検査未受診者へ通知及び電話での受診勧奨 対象者：377 件、受診勧奨率 100.0% <p>【各がん検診受診者状況】 ※子宮頸の精密検査率は好まれません。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>検診受診者数</th> <th>受診率</th> <th>精密検査受診率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>胃</td> <td>1,944 人</td> <td>16.6%</td> <td>90.0%</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3">X 線 1,779 人(15.2%)、内視鏡 165 人(3.7%)</td> </tr> <tr> <td>肺</td> <td>2,210 人</td> <td>18.8%</td> <td>81.2%</td> </tr> <tr> <td>大腸</td> <td>2,710 人</td> <td>23.1%</td> <td>74.5%</td> </tr> <tr> <td>乳</td> <td>2,611 人</td> <td>55.5%</td> <td>95.1%</td> </tr> <tr> <td>子宮頸</td> <td>3,140 人</td> <td>57.0%</td> <td>84.3%</td> </tr> <tr> <td>前立腺</td> <td>602 人</td> <td>14.8%</td> <td>82.9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※分母は、雇用率を勘案した人口(石川県方式)</p>		検診受診者数	受診率	精密検査受診率	胃	1,944 人	16.6%	90.0%		X 線 1,779 人(15.2%)、内視鏡 165 人(3.7%)			肺	2,210 人	18.8%	81.2%	大腸	2,710 人	23.1%	74.5%	乳	2,611 人	55.5%	95.1%	子宮頸	3,140 人	57.0%	84.3%	前立腺	602 人	14.8%	82.9%	<p>1. 検診体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・胃内視鏡検査の受診数が伸びなかった。対象者への個別への通知の方法が原因の一つと考えられる。 ・クーポン券対象者は同年代の受診率と比較すると受診率が高い状況である。クーポン券をきっかけに受診行動につながったと考えられる。 ・がん検診全体の受診率の伸び悩んではいるものの、総合健診やレディース健診日には乳がん検診 4 割増、子宮がん検診 2 割増、加賀市医療センターにおける乳がん検診は昨年度の 2 倍の受診者数となっている。 <p>2. 健康管理の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精密検査未受診者の肺、大腸、子宮頸がん検診で国の目標値の 90.0%を下回った。受診の必要性や必要な検査についてタイムリーに情報を伝える必要がある。 	<p>1. 検診体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 胃内視鏡検査対象者へ受診券の発行 ② 胃内視鏡委託医療機関でのポスター周知 ③ 60 歳がん検診セット無料券の発行 ④ がん検診受診勧奨キャンペーンの実施 ⑤ 女性協議会等へ女性がん検診受診勧奨依頼 ・無料クーポン券事業の継続 ・無料対象者への未受診者勧奨ハガキ ・総合健診やレディース健診日、加賀市医療センターにおける乳がん検診の継続 <p>2. 健康管理の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精密検査未受診者の未受診者理由を把握するための個別勧奨の実施
	検診受診者数	受診率	精密検査受診率																																			
胃	1,944 人	16.6%	90.0%																																			
	X 線 1,779 人(15.2%)、内視鏡 165 人(3.7%)																																					
肺	2,210 人	18.8%	81.2%																																			
大腸	2,710 人	23.1%	74.5%																																			
乳	2,611 人	55.5%	95.1%																																			
子宮頸	3,140 人	57.0%	84.3%																																			
前立腺	602 人	14.8%	82.9%																																			
特定健診	国保保険者として、被保険者の糖尿病や心疾患等生活習慣病の早期発見と重症化予防を図る。	市国保保険被保険者(40 歳～74 歳)	問診・身体計測・診察・血圧測定・尿検査・血液検査(基準により心電図・眼底検査等)	<p>特定健診受診率：37.8% (H30.4 末速報値)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受診率</td> <td>42.2%</td> <td>41.1%</td> <td>37.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【健診受診者内訳】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>集団</th> <th>施設</th> <th>データ提供</th> <th>人間ドック</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受診数</td> <td>2,057</td> <td>1,678</td> <td>780</td> <td>311</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・40 歳及び 65 歳特定健診無料化 40 歳 23.9% (40 代 17.9%)、65 歳 45.5% (60 代 41.5%) 【受診率向上・未受診者対策】 ・医療機関への健診説明会の開催 ・未受診者勧奨通知 9,257 件(71.7%)、電話勧奨 1,070 件 ・保健推進員による各地区での健診受診勧奨 ① 加賀市国民健康保険保健事業等実施計画(第 2 期保健事業実施計画、第 3 期特定健康診査等実施計画)の策定 	年度	H27	H28	H29	受診率	42.2%	41.1%	37.8%		集団	施設	データ提供	人間ドック	受診数	2,057	1,678	780	311	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診受診率は、平成 20 年度より上昇傾向にあったが、平成 28 年度、平成 29 年度と受診率が低下した。 ・健診受診者の内訳をみると、治療中者の医療機関からの検査データ提供率の割合が減少している。 ・40 歳・65 歳の健診無料化により、他の年齢よりも受診率は高かった。 ・電話勧奨による 4 割が健診受診に結びついた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合健診日の増設やレディース健診日の継続 ① 受診料を 1,000 円⇒500 円に変更 ・40 歳及び 65 歳受診料無料化継続 ② 心電図検査を健診受診者全員に実施 【受診率向上・未受診者対策】 ③ 商工会や理美容・菓子組合、シルバー等の各種団体への働きかけ ④ 企業や協会けんぽ等での退職者向けへの働きかけ ・保健推進員による対象者への受診勧奨 ・医師会と未受診対策の検討・協議 ・専任者による未受診者勧奨電話・訪問 														
年度	H27	H28	H29																																			
受診率	42.2%	41.1%	37.8%																																			
	集団	施設	データ提供	人間ドック																																		
受診数	2,057	1,678	780	311																																		
生活習慣病予防健康診査	市民自らの健康状態を理解し、健康の保持増進(健康管理)を図る。	若年者(19 歳～39 歳) その他(生活保護の者)	特定健診に準じる	<p>健診受診率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>若年者受診率</td> <td>257 人</td> <td>223 人</td> <td>208 人</td> </tr> <tr> <td>その他の受診率</td> <td>14 人</td> <td>15 人</td> <td>17 人</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・集団検診は特定健診やがん検診と同時実施 	年度	H27	H28	H29	若年者受診率	257 人	223 人	208 人	その他の受診率	14 人	15 人	17 人	<ul style="list-style-type: none"> ・若年者健診の受診者数は減少した。 ・その他健診の受診者数は微増した。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 若年者健診は新たに医療機関での健診実施 ② 35 歳、39 歳の国保男性に受診勧奨ハガキ送付 ③ 受診料 500 円(特定健診と同じ金額)に変更 																				
年度	H27	H28	H29																																			
若年者受診率	257 人	223 人	208 人																																			
その他の受診率	14 人	15 人	17 人																																			
後期高齢者健康診査	後期高齢者医療広域連合により、後期高齢者の生活習慣病予防を推進し、心身の健康の保持増進を図る。	後期高齢者医療被保険者	特定健診に準じる	<ul style="list-style-type: none"> ・後期高齢者健診受診者数 1,706 人 	<ul style="list-style-type: none"> ・後期高齢者健診の受診者数は横ばいである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健診受診後の健康づくりについて、高齢者福祉部門(地域包括支援センター等)の介護予防事業である介護予防基本チェックリスト送付時に健康づくりお得情報便を同封する。 																																

事業名	目的	対象	内容	平成 29 年度取組み及び実績	評価	平成 30 年度取組み
生活習慣病の発症予防・重症化予防事業	予防可能である糖尿病等を中心とした、生活習慣病の発症予防・重症化予防のため、市民自らが健康状態を理解し、自己管理能力を身につけ、健康の保持増進を図る。	特定健診結果及び糖尿病重症化予防管理台帳による受診勧奨対象者、優先重症化予防対象者	●発症予防 1. 特定保健指導を実施する。 2. タニタメニュー食事体験学習を実施する	在宅栄養士による特定保健指導の実施 1. 特定保健指導初回利用率： 88.1% (333/378 人) 積極的支援 78.4% 動機付け支援 90.5% 2. タニタメニュー食事体験学習：利用 0 人 3. メタボ該当者・予備群該当： 28.1% (1311/4664 人) H30. 6. 4 健康カルテより	<ul style="list-style-type: none"> 特定保健指導の利用率が高い一つの要因として、在宅栄養士の活用及びメタボ予防・改善のための運動施設利用券交付事業（5 回無料券）の導入により、特定保健指導の初回利用率は 88.1%となった。 また、運動施設利用券交付事業（5 回無料券）の活用により、生活改善・健診結果の改善につながった。 	<ul style="list-style-type: none"> 特定保健指導内容の充実 メタボ予防・改善のための運動施設 5 回無料券事業、タニタ食堂メニュー体験、KAGA 健食健歩プロジェクトの活用 特定保健指導実施体制について委託医療機関と検討・協議
			④メタボ予防・改善事業（運動施設利用券交付事業）を開始する	④メタボ予防・改善事業（運動施設利用券交付事業）実施 136 名が利用 5 回終了者（94 名（69.1%））の変化 運動習慣の増加率 73.4% 腹囲減少率 47.9% 体重減少率 20.2%		
			●重症化予防 1. 受診勧奨判定値者の未治療者及び治療中断者を医療機関へ確実につなぐ 2. 治療中者（HbA1c6.5%以上）で治療コントロール不良者へ保健指導を実施する。 3. 健康管理状況確認訪問を実施し（糖尿病管理台帳の活用）、健診や医療機関受診につなぐ	1. 糖尿病未治療者の医療機関受診率 79.0% (113/143 件) →未受診者に対しては全数に再受診勧奨実施 2. 糖尿病治療中者保健指導実施率 75.6% (130/172 件) 3. 糖尿病管理台帳を作成し、地区毎に保健指導を実施する。 →H29 年度健診未受診者に対しては、健康管理状況確認訪問を平成 30 年度実施予定である。		

基本施策における平成 29 年度主な取り組み及び評価及と平成 30 年度の取り組み

基本目標 2 自立した生活を送るために必要な能力の維持・向上

事業名	目的	対象	内容	平成 29 年度取り組み及び実績	評価	平成 30 年度取り組み																				
ラジオ体操推進事業	高齢になっても運動習慣を定着し続けるため、多くの市民が無理なく実施できる、ラジオ体操の普及を図る。	一般市民	1.ラジオ体操ステーション認定制度によりラジオ体操実施拠点を市民に周知 2.ラジオ体操物品の貸し出し 3.正しいラジオ体操教室の開催	新 1.ラジオ体操ステーション認定制度 12 団体 2.ラジオ体操物品の貸し出し CD5枚、ラジカセ 1 台貸し出し 3.正しいラジオ体操教室の開催 2 回 158 名参加	ラジオ体操教室をきっかけとして身近な地域でのラジオ体操ステーションの登録へつなげていくことで、ラジオ体操ステーション登録数をすすめる。	1.ラジオ体操物品貸与 2.ラジオ体操ステーションの認定制度 新 3.正しいラジオ体操教室の講師派遣 ①継続的にラジオ体操に取り組む団体 ②おたっしやサークル研修会 新 4.ラジオ体操を中心とした運動教室を 3 会場で開催(リーダー養成コース、運動習慣定着コース)																				
こころの健康づくり	自殺対策基本法や自殺対策要綱に基づき「誰も自殺に追い込まれることのない社会」の実現を目指す。	一般市民	1.対面相談事業 2.人材育成事業 3.普及啓発事業 4.若年層へのこころの健康づくりの普及 5.自殺対策計画策定実施調査事業	1.対面相談事業 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27 年度</th> <th>H28 年度</th> <th>H29 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>面接</td> <td>延 23</td> <td>延 29</td> <td>実 13 名 延 32 名</td> </tr> <tr> <td>訪問</td> <td>延 7</td> <td>延 2</td> <td>実 4 名 延 11 名</td> </tr> <tr> <td>電話</td> <td>延 31</td> <td>延 45</td> <td>延 101 件</td> </tr> <tr> <td>メール</td> <td></td> <td></td> <td>延 77 件</td> </tr> </tbody> </table> 新 金沢弁護士会合同 暮らしと心の相談会の実施 2回3名 2.人材育成事業 (1)ゲートキーパー講座 3回77名 新 (2)庁内外自殺対策関係部署向け研修会 ①「相談支援者として大切な人の捉え方や視点」 講師 臨床心理士 21名 ②「精神疾患の正しい理解と対応について」 講師 精神科医師 29名 3.普及啓発事業 (1)自殺防止街頭キャンペーン (9/10) 相談窓口チラシ配布 500部 (2)こころの健康づくり講演会 (9/18) 『酒は本当に百薬の長なのでしょうか？お酒と健康について考える』 森川恵一医師 77名 (3)自殺強化月間(3月) 相談窓口相談窓口紹介チラシ 500部設置 4.若年層へのこころの健康づくりの普及 (1)成人式等の若い世代が集まる機会 (2)妊娠届出時相談時 相談窓口配布数 1,000枚 5.自殺対策計画策定実施調査事業 (1)庁内外自殺対策連絡会 1回 (2)庁内外自殺対策連絡会 1回		H27 年度	H28 年度	H29 年度	面接	延 23	延 29	実 13 名 延 32 名	訪問	延 7	延 2	実 4 名 延 11 名	電話	延 31	延 45	延 101 件	メール			延 77 件	・3か年のこころの相談件数は増加しており、相談窓口の周知啓発の効果も考えられる。 ・庁内のみならず関係機関と連携して、新たな相談の機会を設けることができた。 ・平成 29 年度は庁内外自殺対策に携わる関係部署の職員と自殺対策連絡会等を通じ、相談支援・精神疾患についての研修会を実施することができた。 ・平成 24 年から自殺者数は減少傾向であったが、平成 29 年は倍増していることより、継続、連携した相談および啓発等の取り組みが重要である。	・平成 29 年度通り。 新 平成 30 年度は自殺対策計画を策定予定
	H27 年度	H28 年度	H29 年度																							
面接	延 23	延 29	実 13 名 延 32 名																							
訪問	延 7	延 2	実 4 名 延 11 名																							
電話	延 31	延 45	延 101 件																							
メール			延 77 件																							

基本施策における平成 29 年度主な取り組み及び評価及と平成 30 年度の取り組み

基本目標 3 健康づくりを進める生活習慣の改善

事業名	目的	対象	内容	平成 29 年度実績	評価	平成 30 年度取り組み
野菜摂取増・減塩・適量摂取普及活動 (マイベジ活動)	全てのライフステージにおいて、健やかな成長に必要な正しい食生活の必要性や摂取方法等普及推進する。	一般市民	1.母子保健事業や健康増進事業における栄養指導を実施する。 2.食生活改善推進員による啓発普及活動及び食育活動を行う。 3.栄養士連絡会での課題共有と各部署での展開を検討する。	1.乳幼児健診等における個別栄養指導 257 件/年 健康増進事業における栄養指導 2.食生活改善推進活動 ①女性がん検診会場における野菜摂取推進・減塩推進活動 全 11 回 758 人への啓発普及 ②イオン加賀の里、KAGA健康フェスタにおける普及活動 3.栄養士連絡会：保育園、小中学校の給食だよりを活用した野菜摂取の啓発	・県民栄養調査の結果では、野菜摂取量は増えているが、国の示す目標量には達していない。 ・女性がん検診会場で実施したアンケート結果では、毎食野菜を食べる人の割合が減少傾向にある。 ⇒効果的な推進活動を検討する必要あり。	平成 29 年度のとおり。
ウォーキング推進事業	幼児期から高齢期まで誰もが無理なく運動習慣を形成する取り組みとして、ウォーキングの正しい実施方法の啓発やウォーキングイベントを通してウォーキングを推進する。	一般市民	1.KAGA健康フェスタでのウォーキングイベントを開催する(スポーツ課主催)。 2.地区組織によるウォーキング会を開催する。 3.大学と協働でコース調査と活用しやすいウォーキングマップを作成する。	1. ウォーキングイベントの開催(健康フェスタ同時開催) 6月24日ウォーキング会(スポーツ課主催) 参加者数:101名 2. 地区組織によるウォーキング会 13地区 19回開催 ③3. ウォーキングマップ作成 金沢学院大学人間健康学部と協働で、市内17コースについて、保健推進員、スポーツ推進員等に被験者になってもらい、エネルギー消費量・脂肪燃焼量などを調査した。 金沢学院大学芸術学部にもマップをデザインしてもらい 1,500部作成した。	・ウォーキング会では、健康課主催の健康フェスタと同時に行うことで、いろんな分野の多くの参加があった。 ・持ち運びしやすい、新たなマップを完成させることができた。 ・各種団体に被験者になってもらい、調査の段階から参加することで、ウォーキングマップの活用・啓発効果につながる。	①1. ウォーキングマップの啓発・普及 地区会館・図書館などに閲覧用を設置。 ウォーキングイベント参加者に配布する。 ②2. マップリニューアル記念講演会の実施 5月27日(日)13:30～ 「ウォーキングコースの特徴と効果」 金沢学院大学 藤原勝夫氏 参加者 140名 ③3. 定例ウォーキング会の開催(加賀市ノルディックウォーク協会委託) マップを活用したウォーキング会を月1回(第3日曜日)開催する。6月～計10回 ④4. マップを活用したウォーキングイベントの開催(Mellow かが委託)支援 各種団体及び企業において、マップを活用したウォーキング会を開催してもらえるよう働きかけを行い、運営支援を行う。 年間 15回開催
かが健幸長寿講座 生活習慣病予防セミナー	講座を通して、生活習慣病の発症予防や重症化予防のための知識や技術を習得する。	一般市民	健康・介護・医療の分野が協働でかが健幸長寿講座や生活習慣病予防セミナーを開催する	・かが健幸長寿講座(食・運動) 2回 207名 ・生活習慣病予防セミナー 4回 255名 (胃がん・糖尿病+ラジオ体操・こころ・タバコ)	・健康・介護・医療の分野が協働で行っているかが健幸長寿講座は参加率が高い状況である。	・かが健幸長寿講座: 歯周病予防、生活習慣病予防の食事、こころの健康づくりについての講演会を開催

事業名	目的	対象	内容	平成 29 年度実績	評価	平成 30 年度取組み
KAGA 健康フェスタ	食や運動について、 様々な体験などを通して自己の生活を振り返る機会とする。	一般市民	1.ステージイベント 2.健康づくり体験 食、ウォーキング・ラジオ体操、健康相談(血圧・骨密度・体組成・内臓脂肪の測定、運動機能分析)コグニサイズ 3.その他協力団体ブース	日時:平成 29 年 6 月 24 日(土)9:00~15:00 会場:かが交流プラザさくら 総来場者数:600 名 内容:かが交流プラザさくら入居団体や他課と協働開催。 ・ステージイベント ・ノルディックウォーキング会…101 名 ・各種計測、健康相談…193 名 ・食体験…209 名 など	かが交流プラザさくら入居団体や他課と協働開催することができた。 体験コーナーを設けることで様々な体験をする機会となった。	日時:平成 30 年 7 月 14 日(土)9:00~ 会場:かが交流プラザさくら 内容:よーきたまつり(大聖寺商工振興会主催)、加賀看護学校祭と同時開催 客層の拡充を図り、市民の健康づくりの機運を高め、KAGA健食健歩プロジェクトを市民運動として推進する。 ・ノルディックウォーキング大会 ・各種計測、健康相談 ・食体験
タニタ健康プログラム	市民の健康増進やメタボリックシンドローム改善等健康管理として、「運動習慣」をつけ、「食習慣の改善」等の知識や技術の習得により、市民の生活習慣改善及び定着を図る。	運動習慣のない 19 歳以上の市民	1.活動量計の購入費用助成 2.活動量計を活用した WEB システムによる健康管理サイトを開設する。 3.参加者が健康的な生活を継続するためのイベント・健康セミナーを開催する。 4.一般市民にも啓発する公開セミナーを開催する。 5.地元産食材を使った健康食であるタニタ監修メニューの開発と提供を行う。	1.活動量計の購入費用助 KAGAタニタ健幸くらぶ参加者 284 名 〔内訳〕 ①性別 男性:55 名(19%)女性:229 名(81%) ②保険 国保 135 名(48%)、社保 85 名(30%) 共済 43 名(15%)、後期 21 名(7%) ③年齢 平均年齢:62.6 歳 20~30 歳代:15 名(5.3%) 40 歳代:33 名(11.6%) 50 歳代:45 名(15.8%) 60 歳代:104 名(36.6%) 70 歳代:65 名(22.9%) 80 歳代以上:22 名(7.7%) ④データ送信率 H29.7 月 95.3% H29.10 月 79.8% H30.3 月 53.0% 3.継続健康セミナーの開催 ①運動セミナー 5 回実施 参加者 延 181 人 ②調理実習セミナー 1 回実施 参加者 35 人 4.一般市民の公開セミナーの開催 2 回実施 参加者 146 人 5.地元産食材を使った健康食であるタニタ監修メニューの開発と提供 2 メニュー開発し 12 月より提供 H29.12 月~H30.3 月タニタ定食提供数 688 食(9 食/日)	運動セミナーよりも、講演形式のセミナーの方が参加率は高かった。 送信率からも、参加者がモチベーションを高く持ち、継続して健康づくりに取り組めるよう、企画内容や定期的な継続支援の方法を検討する。	・KAGAタニタ健幸くらぶ 新規募集 200 名(株式会社エイム委託) ・株式会社タニタヘルスリンクが県内で唯一提携している株式会社エイムと委託を行う。 エイムが運営することで、きめ細かなメール配信や運動セミナー回数増加、エイムでの体組成測定結果の説明指導が受けられる等継続支援サービスが向上し、送信率も高まる ・一般市民にも啓発する公開セミナーの開催 ・タニタ監修メニューの開発と提供 2 メニュー開発
歯科検診 歯周病検診	成人・高齢期における健康を維持し、食べる楽しみを享受できるよう歯の喪失を予防する。	19 歳以上の加賀市民	1. 歯と口の健康週間行事 2. 歯周病検診	・ 歯と口の健康週間行事 1 回/年:538 人参加 ・ 歯周病検診 3 回/年:135 人参加 ・ 40 歳代における進行した歯周炎を有するもの(4mm以上の歯周ポケット)90.0% ・ 60 歳代における進行した歯周炎を有するもの(4mm以上の歯周ポケット)95.8%	・ 歯周病検診を受けた 60 歳代の殆どの方が歯周炎を有している状況であるものの、歯周疾患検診の受診者数が伸び悩んでいる。	・ 歯科・口腔保健に関する知識の普及のための講演会の開催(健幸長寿講座) 6/10「歯とお口の健康について」 ケイ歯科 院長 金山景錫氏 新 妊婦歯科健康診査事業 ・ 特定健診問診項目の追加(噛むことができるか、何本あるか)

基本施策における平成 29 年度主な取組み及び評価及と平成 30 年度の取組み

基本目標 4 健康を支え守るための社会環境の整備

事業名	目的	対象	内容	平成 29 年度実績	評価	平成 30 年度取組み									
KAGA 健幸ポイント	市民の日々の健康づくり活動にポイントを付与し、継続した健康づくりへのインセンティブ（動機付け）により、健康づくりの実践と継続につなげる。	一般市民	健診や健康に関する事業などへの参加、1日のウォーキング目標の達成やラジオ体操の参加、3食野菜を食べるなど、健康づくりに関する自主活動でポイントが付与され、満点になったら協賛事業所が提供する参加賞と健康づくりに関連した景品を抽選で授与する。	KAGA 健幸ポイントカードの配布枚数 約 5,000 枚 参加賞の受取り 約 100 件 抽選への応募者数 334 件 当選者数 147 人 【アンケート結果】 ・健診受診につながった 83.7% ・食生活改善があった 54.7% ・健康づくりイベントに参加した 50.0% ・次年度もポイント事業に参加する 100.0%	周知不足により参加者は少なかったが、ポイント活用により、「野菜を多く食べるようになった」「ウォーキングやラジオ体操をするようになった」「励みになって食や運動に取り組めた」等、生活習慣改善につながった。	前年度の取組みに加え、次の点を追加・改善する。 1. 開始時期の前倒し（5月1日スタート） 2. 周知の強化（ポスター、チラシ、広報等） 3. 付与対象事業の追加 4. 施設健診・がん検診・歯科検診等の付与ポイント数を増加 5. 保健推進員、ラジオ体操ステーション、介護予防事業、スポーツ課事業などでも押印できるよう、健幸印・スタンプ台を配布 6. 参加賞を提供してくれる協賛事業所を新規に集める。									
健康のまちづくり推進	妊娠期から高齢期までのそれぞれのライフステージに応じた健康づくりを総合的に推進し、健康寿命の延伸を目指すため、健康づくりを介護、医療の分野まで広く捉え、市民の健康づくりの推進の気運を高める。	一般市民 KAGA 健食健歩プロジェクト 関連団体等	1. かがし健康応援プラン 21 推進のため啓発する。 2. KAGA 健食健歩プロジェクト連携推進会議の開催 3. 健康のまちづくり友好都市連盟サミットについて 4. 健康のまちづくり市内ワーキングを開催する。	① 1. かがし健康応援プラン 21 中間評価を実施し、今後の5年間の計画を策定。 2. かがし健康応援プラン 21 推進のための啓発普及 ・生活習慣改善取り組み教材パンフレットの全戸配布（高血圧）。 ② 市民や関係機関がわかりやすく、健康づくりを進めるために、健康づくりスローガンを食生活改善推進協議会や保健推進員協議会の協力により、作成した。 3. 健康のまちづくり友好都市連盟サミット 延岡市参加 4. 健康づくり市内ワーキング 4回 60名	【健康のまちづくり市内ワーキングによる成果】 ①健康のまちづくり 21 地区座談会の開催（医療・介護・健康） ②各課の事業計画における地区座談会の意見の反映と各計画のすり合わせ（整合性） ③ウォーキングマップの協働調査 ④健幸長寿講座（糖尿病習慣行事）、健康フェスタ、いきいき大集合等のイベントの協働実施 ⑤タニタ監修メニュー開発とシルバーレストランでの提供 ⑥各課事業の周知及び関連団体の調整等協力・支援	1. かがし健康応援プラン 21 推進のための啓発普及 ①公共施設や野菜売り場、企業（飲食店・スポーツ施設）などでのスローガンポスター等による啓発 ②スローガンを基に生活習慣改善パンフレット全戸配布。 ③ 2. KAGA 健食健歩プロジェクト連携推進会議の開催 ①開催回数 2回程度 ②内容 KAGA 健食健歩プロジェクトの連携状況や推進状況の共有や健康づくり事業の検討。 3. 健康のまちづくり友好都市連盟サミットについて ①開催日 平成30年10月20日（土）、21日（日） ②開催会場 ホテルアローレ ③内容 加盟自治体が取組みや成果発表 ④参加人数 100名（予定） 4. 健康のまちづくり市内ワーキングの開催 年4回予定									
加賀市保健推進員協議会活動	保健衛生を推進し、市民の健康増進の意識高揚を図る。	全てのライフステージの市民	2年任期。区長の推薦により選出 【スローガン】 私たちは市民の健康づくりを応援します！ 【重点目標】 ①健康寿命を延ばすための食事、運動を推進しよう ②特定健診受診率 57%を目指そう ③がん検診受診率向上を目指そう	1. 会議：総会 117/416 人参加。 役員会 6 回、理事会 5 回 保健推進員・食生活改善推進員合同会議 1 回 2. 研修会：かがし健幸長寿講座等及び生活習慣病予防セミナー等 8 回 220 人参加 健康のまちづくりを考える座談会 165 人 福井県高浜町視察研修 13 人 3. 全体活動：KAGA 健康フェスタ 2018 他 3 回 4. 地区活動：21 地区 <table border="1" data-bbox="1210 1696 1774 1801"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28 年度</th> <th>H29 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>230 回</td> <td>181 回</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>10,089 人</td> <td>10,052 人</td> </tr> </tbody> </table> 5. スローガンの作成		H28 年度	H29 年度	回数	230 回	181 回	人数	10,089 人	10,052 人	保健推進員自身の健康づくりや市民に対する具体的で効果的な健康づくりの啓発普及が縦横である。 そのため、今後はさらに健食健歩プロジェクトと連動した活動展開も行う。	①保健推進員協議会へ「国保健康づくり推進事業」を委託 ②地域の実情に合わせ、特定健診やがん検診の受診勧奨を実施 ③ 健幸ポイント制度を活用した地区での生活習慣病予防講座等の健康づくり活動を実施 ④ 健康づくりスローガンの普及・啓発 保健推進員・食生活改善推進員の活動におけるスローガンの活用やポスター等による啓発
	H28 年度	H29 年度													
回数	230 回	181 回													
人数	10,089 人	10,052 人													

事業名	目的	対象	内容	平成 29 年度実績	評価	平成 30 年度取組み
食生活改善推進協議会活動	行政が推進する栄養改善業務に協力し、実践活動を通じて地域社会の食生活改善に寄与する。	全てのライフステージの市民	<p>食生活改善推進員養成講座を修了後、自ら食生活改善推進協議会入会し活動。</p> <p>【スローガン】 私達の健康は私達の手で</p> <p>【目標】</p> <p>①「いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり」実現に向け、「かがし健康応援プラン21（第2次）」の推進に協力しましょう。</p> <p>②生活習慣病予防の実践活動に努めましょう。</p> <p>③市民が生涯にわたって健全な心身を培い豊かな人間性を育みながら、環境にも配慮する食育活動に努めましょう。</p> <p>④食文化と健康のための「加賀の食」の伝承と地産地消を推進しましょう。</p>	<p>1. 会員数：121 人</p> <p>2. 会議：市総会 70 人参加 南加賀、県総会 役員会、理事会等 40 回</p> <p>3. 研修会：市中央研修会等 13 回 131 人参加 その他県研修会等 6 回 135 人参加</p> <p>4. 活動：生活習慣病予防講座 31 回 1,199 人 食育講座 56 回 722 人 (小学校は学童クラブ、児童センターでのクッキング等) 伝承料理・地産地消 8 回 413 人</p> <p>5. 食生活改善養成講座 1 コース 7 回 10 人修了</p>	<p>・新規会員が増えない状況であり、地域における活動が役員などの限定の会員に負担がかかる。</p> <p>・全体活動では、「野菜摂取を増やそう」、「塩分を減らそう」を重点テーマとして、健幸フェスタや女性がん検診で多くの市民に啓発普及でできた。</p> <p>・子供や高齢者、男性等の幅広い対象者へ働きかけができた。</p>	<p>①健康づくりスローガン普及・啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野菜摂取推進活動 「野菜は両手いっぱい」の三度の食事 ・減塩推進活動 等 ・保健推進員、JA などと連携した食育活動 <p>②大人の食育講座（食生活改善基礎講座）</p> <p>6 月から 11 月 1 回 7 コース</p> <p>【内容】健康づくりの食や運動について、講師や調理実習、運動の実施等にて学ぶ。</p> <p>※講座修了後は、食生活改善推進員として地域で活動ができる。</p>